

# 町家ペンキ塗り替えボランティア活動 2005年 in HAKODATE

■ 2005年7月30日（土）、7月31日（日） ■



before



after



←左

(27) MOSSTREES：1907(明治40)年、大町9-15

【塗り替えの配色】外壁下見板：濃いめのモスグリーン色、窓枠・柱・胴蛇腹・軒蛇腹・軒持ち送り・軒飾りパネル：薄めのモスグリーン色の2色

右→

(28) 奥谷畳店：1927(昭和2)年、弁天町7-6

【塗り替えの配色】外壁下見板：ピンク色、窓枠・柱・胴蛇腹・軒蛇腹・軒持ち送り：白色、小屋根・下屋根：赤茶色の3色



before



after



●塗り替え対象物件の選定理由：函館市民に対して町家ペンキ塗り替えの公募をおこなったところ、今回は3件の応募があった。そのうちの1件は東部地区・時町町の建物で、残る2件の西部地区の建物を優先的に選んだ。MOSSTREES（1907年創建、大町9-15）と奥谷畳店（1927年創建、弁天町7-6）の2件である。前者のMOSSTREESについては、1995年に旧名称PEACEFUL PLACEの時代に一度色々が塗り替え、その後も一度道路に面したファサードだけを塗り替えたようである。いずれも1989年（7月～8月）に「元町倶楽部・函館の色彩を考える会」がこすり出し・時層色調査をおこなっており、その資料に基づいて、以下の塗り替える色を検討した。

●塗り替える色の方針：1989年の時層色調査の結果から、MOSSTREESでは外壁6層、奥谷畳店では外壁9層のペンキがあらわれ、それぞれの色について塗装年代の分析をおこなった。その中からMOSSTREESでは、①外壁2層目：薄めのモスグリーン色と窓枠等2層目：青色の配色・1951年頃、②外壁3層目：濃いめのモスグリーン色と窓枠等3層目：クリーム色の配色・1958年頃、③外壁・窓枠5層目：パージュ色一色・1971年頃、④建物所有者希望の色として、外壁：薄めの緑色と窓枠等：濃い緑色の配色、⑤西部地区の町並み景観との調和、建物の周囲の環境との調和を考慮した、その他の色として、外壁：薄めの緑色と窓枠等：緑色の配色、の5つを、奥谷畳店では、①外壁1層目：ピンク色と胴蛇腹1層目：白色の配色・1927年創建時頃、②外壁4層目：クリーム色と胴蛇腹3層目：茶色の配色・1942年頃、③外壁6層目：青色と胴蛇腹5層目：薄い青色の配色・1971年頃、④現状の色として薄めの緑色一色、⑤建物所有者希望の色として、外壁：薄色と窓枠等：濃い青色の配色、⑥西部地区の町並み景観との調和、建物の周囲の環境との調和を考慮した、その他の色として、外壁：薄い青色と窓枠等：濃い青色の配色、の6つを、検討案としてシミュレーションをおこなった。それをもとに、建物所有者と相談した結果、MOSSTREESは②外壁3層目：濃いめのモスグリーン色と窓枠等3層目：クリーム色の配色・1958年頃の歴史的な色、奥谷畳店は①外壁1層目：ピンク色と胴蛇腹1層目：白色の配色・1927年創建時頃のオリジナルの色を選び、決定した。

●テレビの取材・番組の放送：HTB（北海道テレビ）の取材を受け、10月30日（日）の番組「月見嘉男 未来世紀日本」（AM1:30～2:00）の中で放送された。

【参加者】ペンキ塗りボランティアリーダー：花本達郎、船子 直、中村保之、金 貞昭、杉田 昌、劉 強、劉 洋（以上、北海道大学大学院工学研究科建築計画学研究室・修士課程1年）、吉田裕昭（同・修士課程2年）、劉国明（同・修士課程2年）、森下 真（同・修士）、鈴木しおり、高橋優衣、岡田佳苗、松谷美希、阿部真紗美、石川志穂、逢下 涼平、藤田純也、佐々木智也、大平真希（以上、函館工業高校・生徒）、川合友也、打田亮介、大村 洋、金丸菜穂子、渡野結菜（以上、函館工業高等専門学校・学生）、加賀宗太、野田紗穂、藤原文恵、水島 憲、中山清美、大森 敏、八木裕平、菅原悠太、林謙平、加藤有子、島谷あゆみ、藤土友成、大野正徳、藤内真詩、小嶋 直、村上仁志、青柳雅也、川又貴幸、山之内直之、大橋白起子、金野美希、梅村幸子、安達理恵、新井美由紀、村山絵美、田中結美、吉田 麗、山上梓希、後藤孝一、三川 豊（以上、北海道教育大学函館校・学生）、根本真希（北海道教育大学函館校・助教）、中村幸子（小倉工務店）、原 一彰（本行不動産、北海道教育大学函館校・非常勤講師）、大谷誠一、山本真也（以上元町倶楽部）、吉村有人（旭化成ホームズ）、西尾健一（札幌市役所）、藤本浩一（関ホース）、後谷英江（札幌市役所）、以上54名

【協力者】竹田政美（所有建物のペンキ塗りの承認、塗りの差し入れ）、奥谷（所有建物のペンキ塗りの承認、塗りの差し入れ）、藤小倉工務店（塗りの承認）、日本ペイント販売北海道支社・札幌支社（ペンキ塗りの手配）、函館工業高校建築科教師・吉村富士夫（函館工業高校生のボランティア手配）、函館工業高等専門学校教師・高橋孝吉（函館工業高等専門学校生のボランティア手配）、女子学生の協賛）、北海道教育大学函館校助教・根本達郎（北海道教育大学函館校学生のボランティア手配）、元町倶楽部・山本真也（北海道教育大学函館校学生のボランティア手配、色の印刷・決定）、函館からトラスト事務局・関有崎・河内昌子（足廻の交渉、ハケ等ペンキ用具の保管、塗布時の手配）、元町倶楽部・太田誠一（色の相談・決定）

※以上敬称略